

土壌インベントリー説明会（山口会場）

開催日：2007/6/19-20

開催地：山口県光市中島田 ID 350295



記録：

山口県光市内のインベントリー調査地（ID 350295）において、中国・四国・九州地方の参加者を対象に説明会を行った。今回の参加者は、経験者・未経験者が同数程度であったため、炭素蓄積量調査では参加者を5班（概ね講師1・経験者1・未経験者1の割合）に分け、各参加者が十分な説明を受け、実習を行えるように配慮した。土壌代表断面調査も2断面用意し、各参加者が途中で入れかわり、2回説明を受けられるよう対応した。その結果、参加者の実習時間を比較的多くとることができた。

調査地は、住宅地裏山の丘陵地にあり、平坦な尾根筋に設定されている。上木はクリなどの広葉樹が優占する林分であったが、被陰されたヒノキがみられるなど、植林はされたもののうまく育たなかった林分の可能性があり、全般的に樹木の成長はよくない。調査地の土壌は、花崗岩を母材とするものの礫は少なく、南西日本においては珍しい地点であったかも知れない。土壌型は、A層は薄く次層への推移が比較的明瞭であること、A層で粒状構造がみられたこと、堆積有機物のH層が2cm程度認められたことなどから乾性褐色森林土BB型と判定された。

今回の説明会を通して、経験者からは調査に関する質問だけでなく、改善点の指摘などもあり、今後の参考にしていきたい。また、土壌調査に関しては一度の説明会で会得できるものではないこと、県の担当者の変更などによって経験の継承がなされないことなどが想定されるので、本事業を進める上で定期的に説明会を開催する必要があると考えている。また 19 日晩は全員同宿で、懇親の機会を得た。調査の苦勞や事業の進め方についても意見交換ができた。両日とも有意義な講習会となった。

日程：

6月19日（火）

12:45 集合（JR 光駅等）後、調査地への移動

13:30 調査概要説明

（調査プロット確認後、土壌炭素蓄積量調査法および枯死木調査等の説明）

14:30 土壌炭素蓄積量調査および枯死木調査 実習

17:30 調査終了

6月20日（水）

8:30 出発

9:00 土壌断面調査法の説明 及び 調査開始

12:00 講評後、解散

参加者：19 名

山口県・広島県・島根県・岡山県・愛媛県・福岡県・宮崎県

森林総研（高橋・鳥居・大貫・今矢・釣田・山田）